



地方こそ宇宙産業創出の時代へ

2025年12月12日

2moon

憧れるのをやめましょう



宇宙はすでに空の一部
特別なものではありません



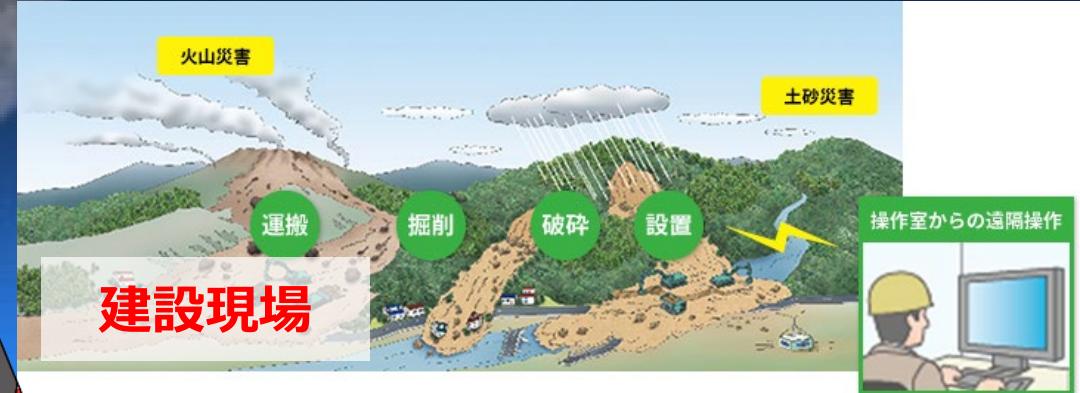
新潟県上越市の天気予報

週間の最新見解

日	16 (月)	17 (火)	18 (水)	19 (木)	20 (金)	21 (土)	22 (日)	23 (月)	24 (火)	25 (水)
天気										
最高	30℃	30℃	31℃	34℃	26℃	24℃	26℃	28℃	28℃	27℃
最低	22℃	23℃	24℃	24℃	18℃	17℃	17℃	19℃	19℃	20℃
降水	60%	40%	40%	40%	60%	60%	60%	60%	60%	60%

天気予報
週間天気

©ウェザーニュース





@航空自衛隊

航空自衛隊 → 航空宇宙自衛隊(2027年-)

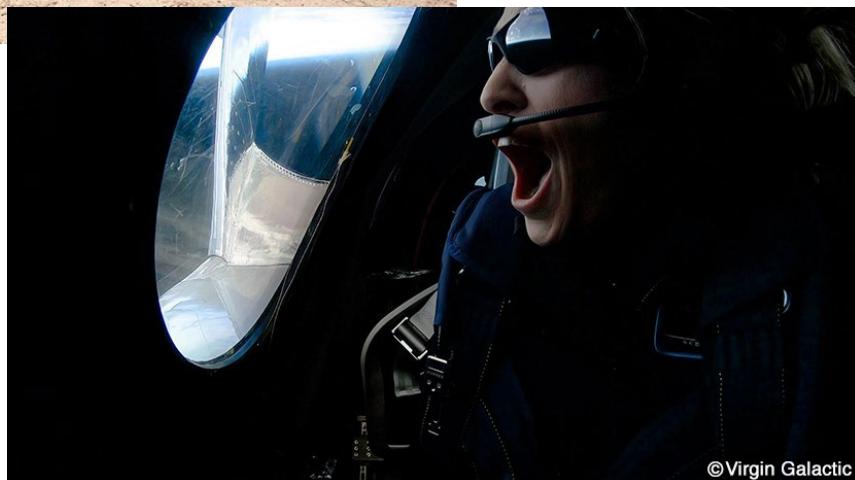
20年前夢物語だと思われた2日に1回のロケット打上げ
→ 大型ロケットが1.6日に1回打上げ(2023年)



日本の宇宙産業は政府の予測を上回る倍の速度で拡大
(2017年:1.2兆円、2030年初頭:8兆円を目指す)

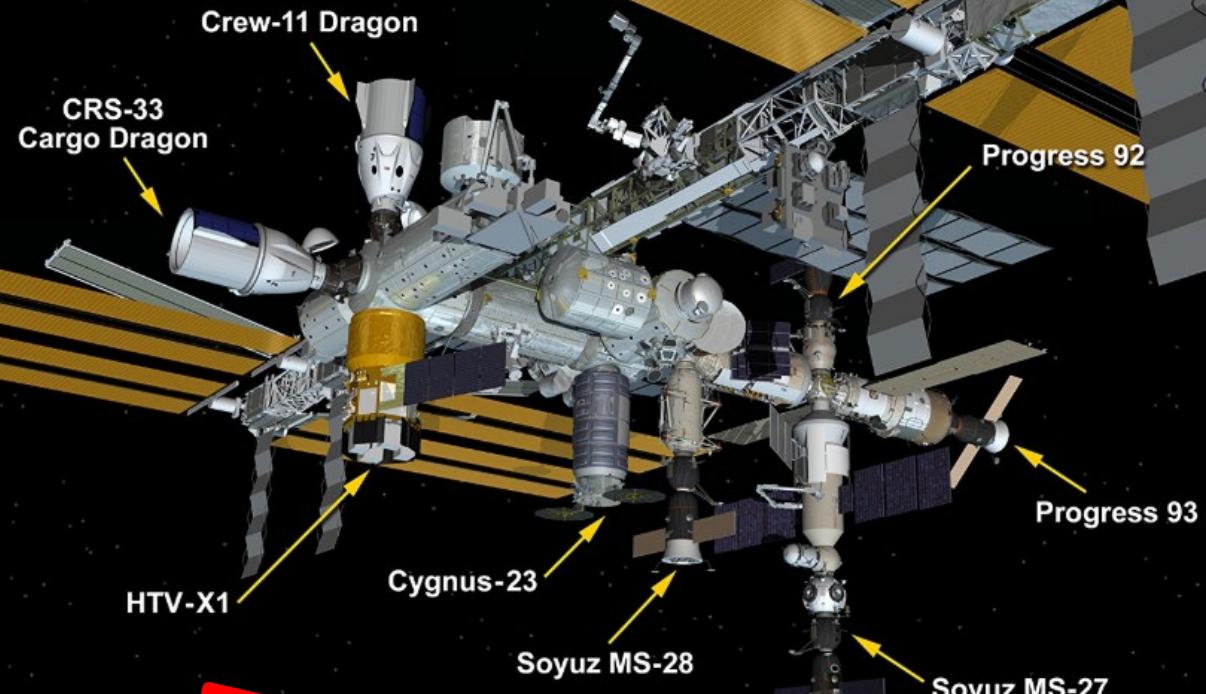
宇宙旅行も始まっています

-2022年は宇宙旅行元年！-



前澤氏2021年12月、12日間宇宙ステーションへ

- ISS 行
- NG
- 商興 A



低軌道は政府主導から民間へ

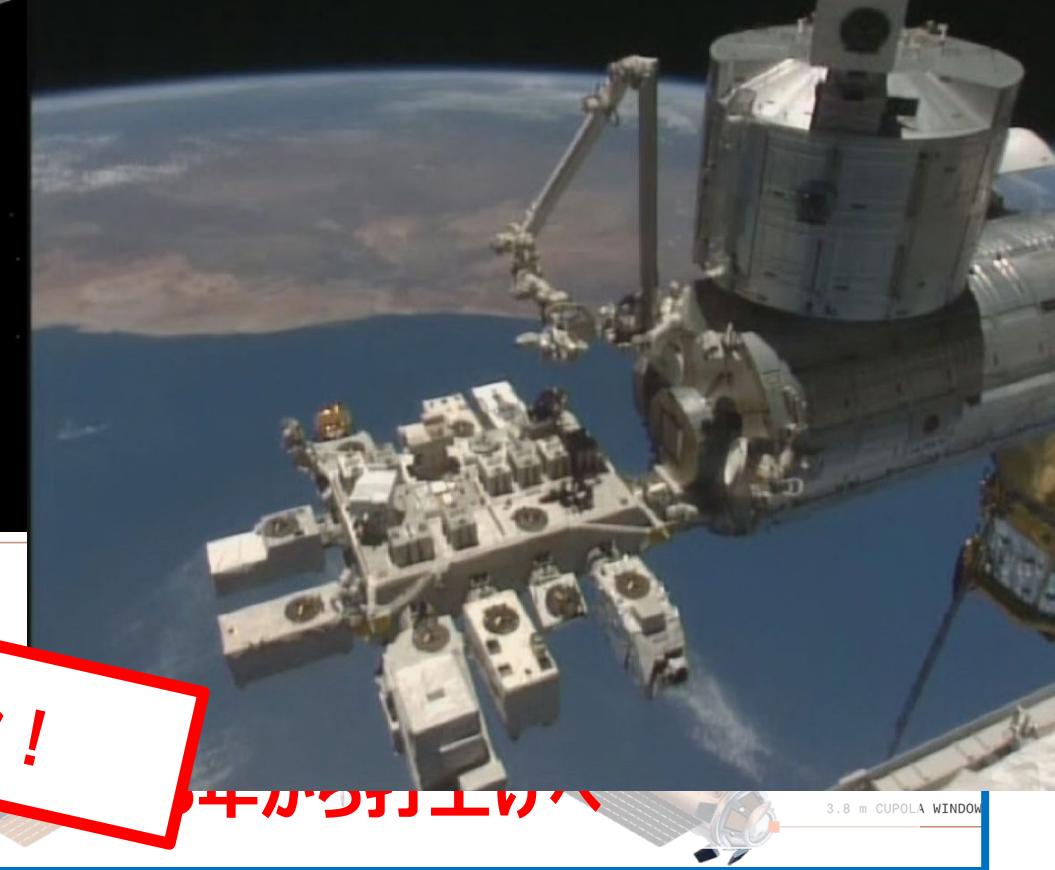
ちなみにISSもポートがパンパン！



Nanoracks は Lockheed Martin や Airbus と スターラボ を開発。日本の企業の参画が発表される予定



Blue Origin は Sierra Space などと オービタルリースを開発。兼松、三菱重工業、三菱UFJ、東京海上日動などが参画



打ち上げるへ

3.8 m CUPOLA WINDOW

月を回る宇宙ステーションが建設されます

https://humans-in-space.jaxa.jp/news/item/003547/gateway_overview_ver2.pdf#page=3



アルテミス計画とは

NASAを中心とした、**月面探査**とその後の**火星有人着陸**に向けた計画。2022年11月には最初のミッションの打上げに成功(Artemis I)。次回ミッション(Artemis II)では、4名の宇宙飛行士による月周回ミッションを予定。Artemis III以降では、アポロ計画以来となる有人月面着陸と、月周回拠点であるGateway(ゲートウェイ)の建造開始を目指す。

Artemis I

2022



・ 無人試験飛行

成功！

2024年2月1日時点

Artemis II

2025⇒2026



・ 有人試験飛行

Artemis III

2026 ⇒2027



・ 有人月面着陸

・ 2025年以降 Gateway (PPE/HALO)打上予定

Artemis IV～VII

2028～



- ・ 有人月面着陸
- ・ Gateway打上・組立 (Artemis VIで完成)
- ・ 有人与圧ローバなどを順次打上予定

日本人も月面に立ちます



新たな宇宙飛行士が誕生！



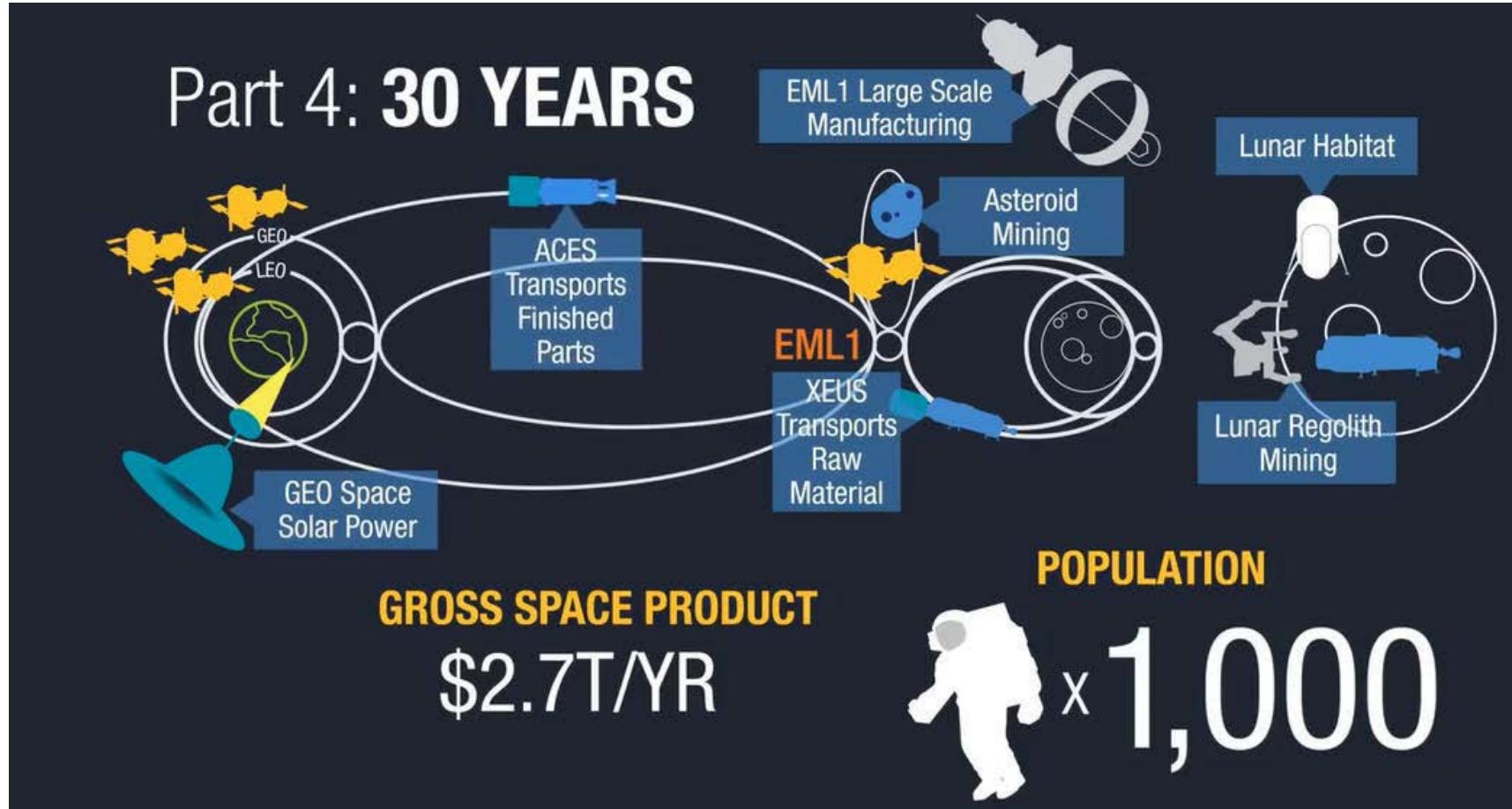
日本人宇宙飛行士 2人が月面へ
有人月面探査「アルテミス計画」で日米合意
1人目は2028年目標

日本は、「ルナクルーザー」を提供
2031年の打ち上げを目指す
月面探査しながら2名が30日程度滞在可能
日本はNASAには欠かせない国に



宇宙に1000人の人が暮らすようになります

ULA Innovation: Cislunar-1000



30年後に宇宙で1,000人が生活・仕事をするというビジョンの紹介。

2031年には宇宙で暮らす人数は300名となり総宇宙生産(GSP)は9,000億ドルになると予測

成長し続ける宇宙産業

宇宙はあらゆる社会や産業に関連する巨大市場へ

1. 宇宙安全保障の高まり

2. 社会インフラとしての宇宙の高まり

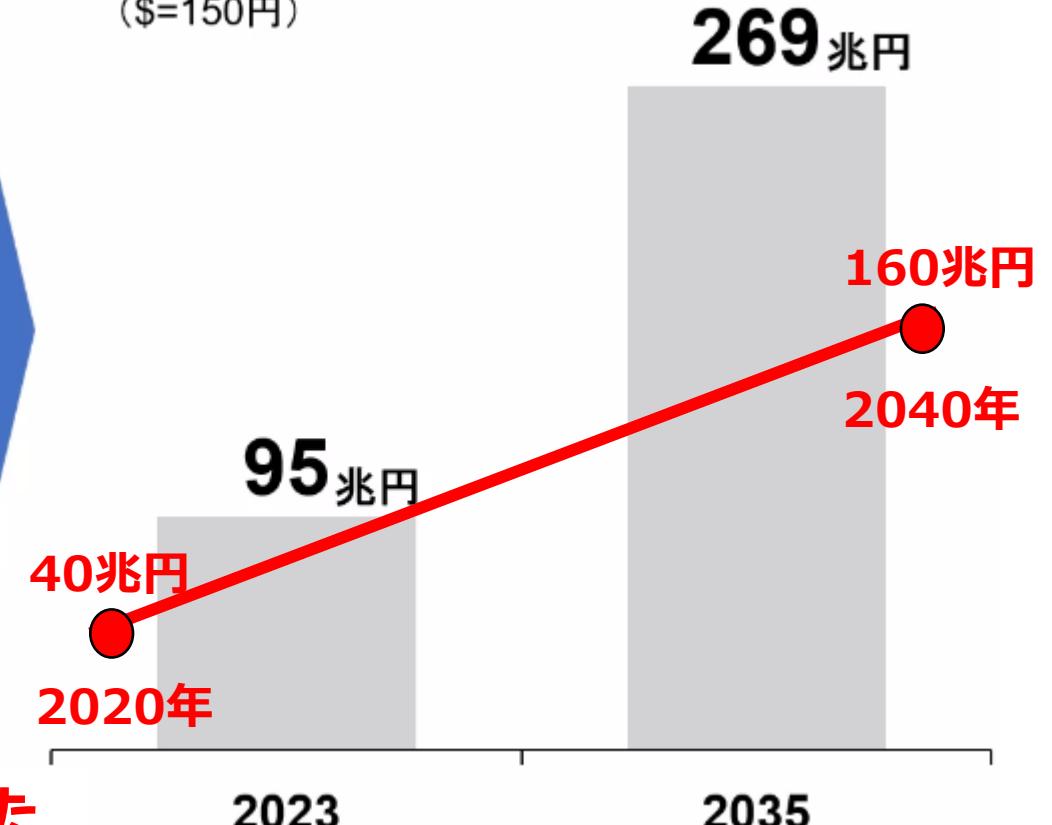
3. 諸外国の宇宙活動の活発化

4. 民間による宇宙ビジネスの台頭

5. テクノロジーの進化

世界経済フォーラムによる宇宙経済圏

(\$=150円)



赤字: 2018年にA.Tカーニーが算出した
市場予測を大きく上回る

©SPACETIDE

成長し続ける宇宙産業

世界中の投資が宇宙産業へ - 成長し続ける宇宙産業- 【日本】

政府目標 (R2宇宙基本計画)

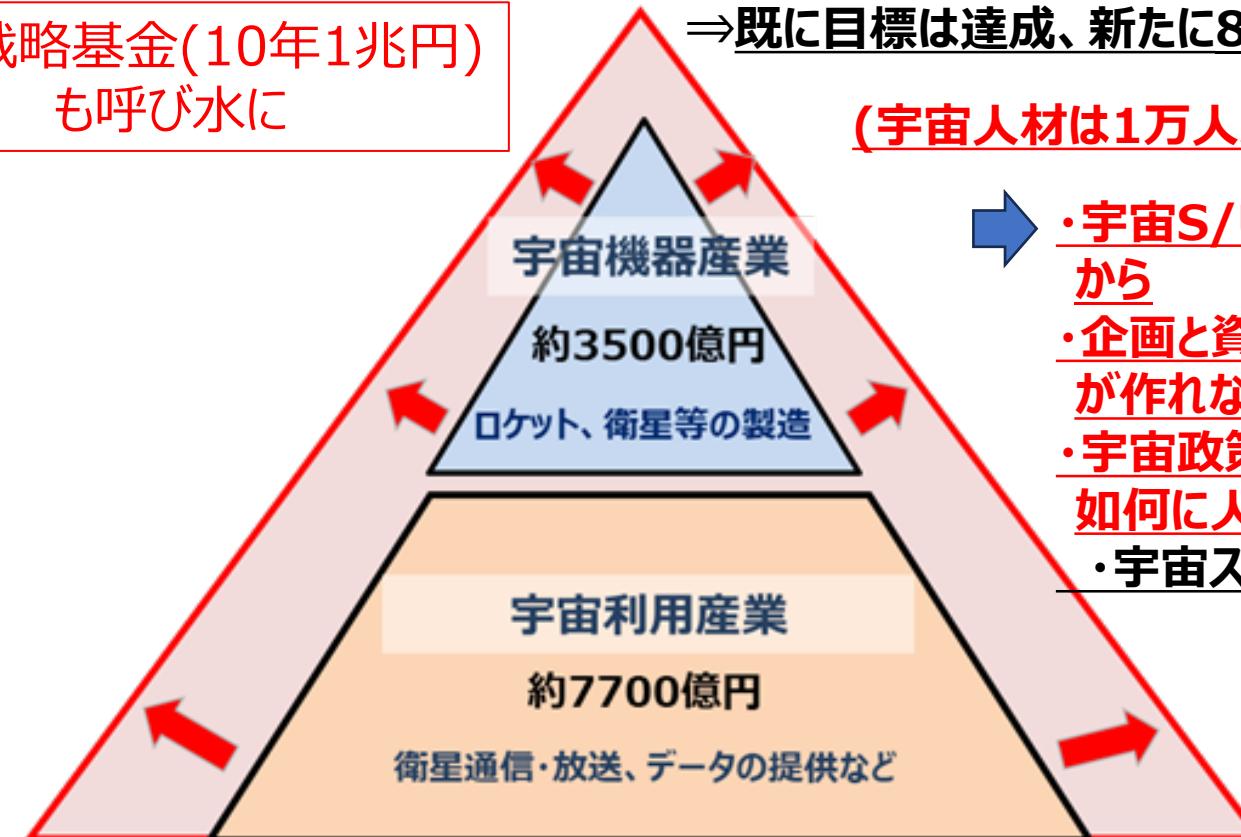
「宇宙産業の規模を2030年代早期に倍増（約1.2⇒2.4兆円）」

宇宙戦略基金(10年1兆円)
も呼び水に

⇒既に目標は達成、新たに8兆円を目指す

(宇宙人材は1万人から15万人規模が必要となる)

- ・宇宙S/Uの9割の人材が宇宙産業以外から
- ・企画と資金があってもモノ(H/W, S/W)が作れない状況
- ・宇宙政策基金獲得の重要なファクターは如何に人を集めめるか
- ・宇宙スキル標準の動き



(出典) 一般社団法人日本航空宇宙工業会 令和元年度宇宙産業データブック (平成30年 (2018) 年度の宇宙関連産業規模)

増加し続ける宇宙企業

これらを受けての「**宇宙分野は、自動車産業に次いでわが国の基幹産業となりうる大変重要な分野**」

第118回宇宙政策委員会(2025年5月21日)：内閣府

- 第118回宇宙政策委員会後の締めとして、
城内実 特命担当大臣（宇宙政策：当時）
より以下の発言あり
- 視察した大阪・関西万博2025で「**フロンティアとしての宇宙に対する国際的な関心の高さ、宇宙開発競争の激化**」を感じた。この日審議された宇宙基本計画工程表改訂の**重点事項を今年度中に早急に進めていく。**
- 「**宇宙分野は、自動車産業に次いでわが国の基幹産業となりうる大変重要な分野**」と述べ、宇宙政策の推進に全力で取り組むとした。



会議終了前に発言する城内大臣

<https://www8.cao.go.jp/space/comittee/kaisai.html>
<https://spacemedia.jp/news/15512>

増加し続ける宇宙企業

日本の“勝ち筋” - 自動車産業との親和性で実装加速

日本は「高信頼な宇宙輸送×測位基盤×精密製造」を土台に、モビリティ起点で需要側から市場を牽引できる。

- ・低コスト・高頻度打上げへの移行。H3の長期目標は最軽量構成で1機あたり約50億円(H-IIAの半額以下を狙う)。その他民間ロケットも更なる低価格化を実現予定。
2030年前半で年間30機の国内からの打上げを目指している。
→H3ロケットの9割は自動車部品からの転用
- ・測位インフラの国家整備である「**準天頂衛星システム(QZSS)**」は7機体制へ拡張中。
将来11機への拡充方針。自動運転やロボタクシー等の高信頼PNTの土台に。
- ・「**自動車×宇宙**」の実利用が進む。**QZSSのセンチメータ級測位(CLAS)は地殻変動補正等の誤差補正を衛星配信し、レベル4自動運転・V2X・建機・物流の地上実装を後押し。**

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/01540/00014/>
<https://www.istellartech.com/news/press/9670>
<https://www.yomiuri.co.jp/science/20241224-OYT1T50124/>
<https://uchubiz.com/article/new24539/>

増加し続ける宇宙企業

自動車業界の動き

トヨタ

- ・JAXAとルナクルーザーを開発中
- ・子会社である「ウーブン・バイ・トヨタ(株)」と民間ロケット会社「インタステラテクノロジズ」が業務提携及び70億円の投資(2025.1.7)

ホンダ

- ・再使用型ロケット実験機の離着陸実験に成功(2025.6.17)
- ・循環型再生エネルギーシステムのコア部品の試験をISSで実施へ。米国航空宇宙関連企業と提携(2025.4.4)

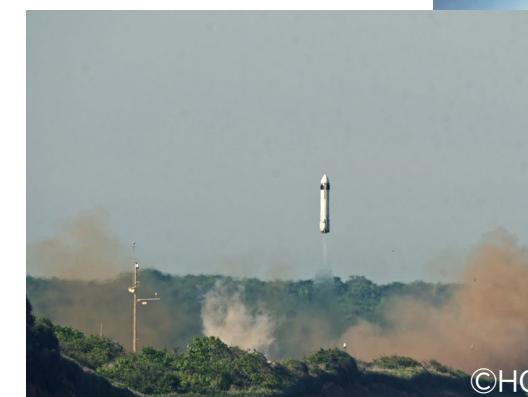
**自動車のサプライチェーンを利用した
宇宙システムの量産化が始まっている**



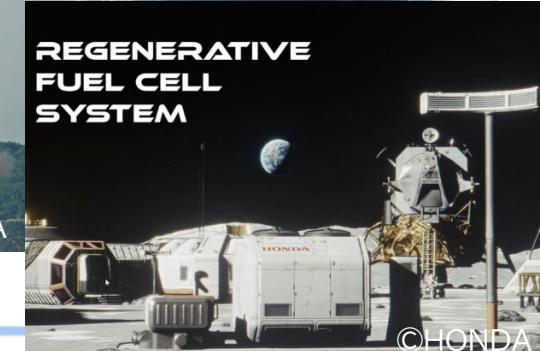
©TOYOTA



©IST



©HONDA



REGENERATIVE
FUEL CELL
SYSTEM

©HONDA

<https://global.toyota/jp/mobility/technology/lunarcruiser/>
<https://www.istellartech.com/news/press/9670>
https://global.honda/jp/topics/2025/c_2025-06-17c.html
https://global.honda/jp/topics/2025/c_2025-04-04b.html

高市首相の追い風

宇宙は、日本の国家戦略技術

政府は2025年度内にまとめる次期「科学技術・イノベーション基本計画」において、将来の国際競争力強化に不可欠な6つの「**国家戦略技術**」分野を指定し、研究開発税制の優遇拡充や研究費支援などを重点的に実施する方針。

対象分野は以下の6つ

- ① AI・先端ロボット
- ② 量子
- ③ 半導体・通信
- ④ バイオ・ヘルスケア
- ⑤ 核融合

宇宙戦略基金 第3期(2026年度分)予算2000億円

2025年度補正予算案が衆院通過し成立へ

第4期以降も継続の勢い



⑥ 宇宙

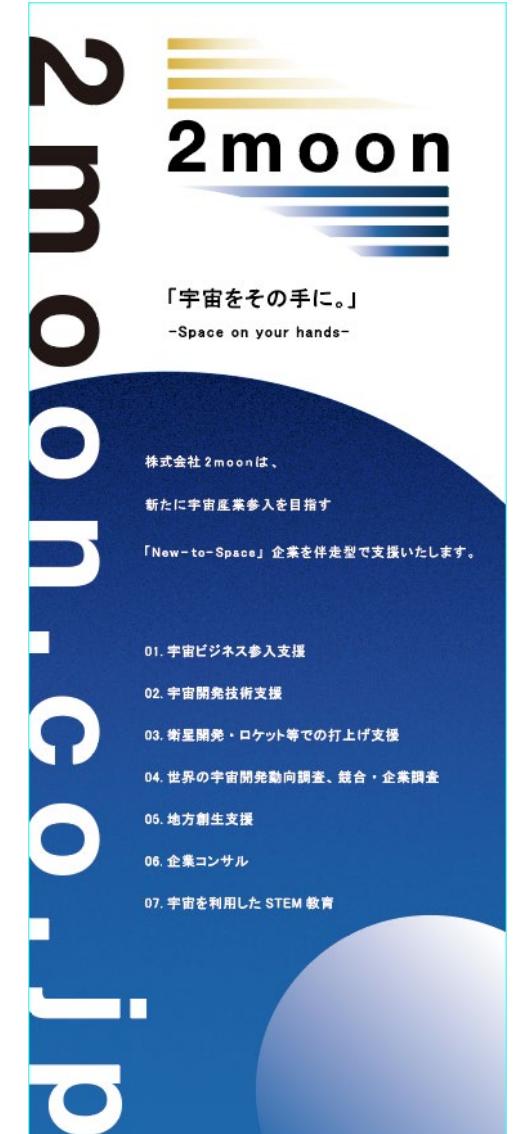
Agenda

- 
1. 会社紹介
 2. 遅れている地方での宇宙産業と
それを支援したい政府
 3. 新潟県内で宇宙に関わる企業
 4. 何をすればよいのか？

今や宇宙は生活の一部となり、空との境界線もなくなりつつあります。すでに宇宙は特別なものではないのです！宇宙旅行が始まり、宇宙に年間1000人が暮らす世界は夢ではなくなりました。宇宙データも欠かすことのできない情報となっています。

日本の宇宙政策を見ると内閣府が掲げる「宇宙産業ビジョン2030」のもと、2030年代早期に宇宙産業を8兆円規模へ倍増し、「New-to-Space」と呼ばれる新たに宇宙産業を参入を目指す企業を応援しようとしています。我々2moonは、特に**「宇宙×地方創生」に関するプロジェクト創出**と共に、このような**「New-to-Space」企業を深めに伴走型でしっかり支援すること**を第1のミッションと考えています。

宇宙でみんなをHappyに！



会社名: 株式会社 2moon(トゥームーン)
代表取締役社長: 伊巻 和弥
所在地: 東京都中央区日本橋室町1-11-12
日本橋水野ビル7F



主な業務内容:

- ・宇宙ビジネス参入支援
 - 自社技術を活用した宇宙産業参入
(宇宙ステーション利用、月面開発・利用など)
 - 衛星データを利用した業務拡大・社会課題解決
 - 補助金等申請支援
- ・宇宙開発技術支援
- ・衛星開発・ロケット等での打上げ支援
- ・世界の宇宙開発動向調査、競合・企業調査
- ・地方創生支援(社会課題解決、DX化)
- ・企業コンサル(ロボット、DXビジネス、新規事業創出、
自治体・大学連携、海外進出)
- ・宇宙を利用したSTEM教育

ご興味のある方は
当社HPへ

NPO法人口ボットビジネス支援機構(RobiZy) 宇宙部会長
国立愛媛大学 防災情報研究センター 特定准教授
NPO法人 上越地域活性化機構 理事
JAXAパートナー企業
有人宇宙システム(株) アルムナイ

経歴:

- ・スペースシャトルミッション・ロボットアーム設計・運用
- ・JAXA技術衛星7号 ロボットシステム 運用準備・運用
- ・ISS日本実験モジュール「きぼう」ロボットシステム・機構系チーム、宇宙飛行士支援チームの立ち上げ・運用準備
- ・上記チームでの運用(10年位)
- ・HAKUTO(月面ローバー)運用・訓練設計
- ・はやぶさ2運用、訓練プログラム構築支援
- ・火星衛星探査運用設計
- ・1次産業を中心とした宇宙利用促進 等

宇宙業界で30年以上。企業コンサル40社以上
有人、無人併せ8システムの設計・運用経験

自己紹介

©NASA



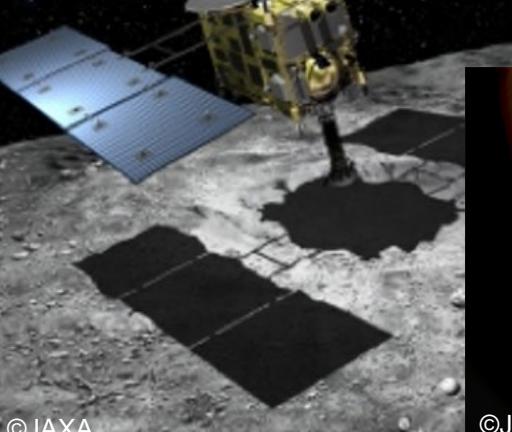
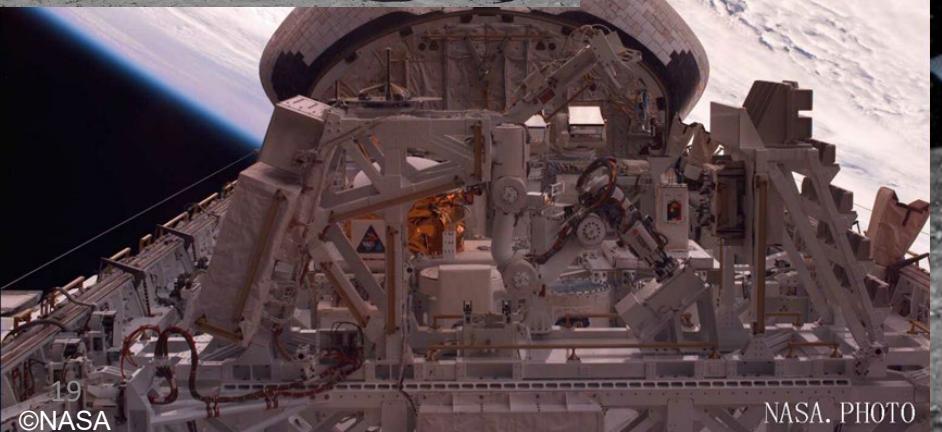
TRY ANGLE EHIME

愛媛の未来に向け
チャレンジする人や
事業者を支援する
応募フォーム

実装委託費
3,000万円
二次応募～6/26まで

リモファーム
RemoFarm

衛星データと気象データを自動取得、
自宅でもリモートで農地の生育状況を面的に把握



©JAXA



宇宙産業ビジョン 2030
第4次産業革命下の宇宙利用創造

宇宙政策委員会
2017年5月29日

©内閣府

自己紹介



デジタル田園都市 国家構想応援団

- ・デジタル田園都市国家構想(デジ田)とは、「デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されず全ての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしを実現する」という構想
- ・応援団は、日本の地域DXをリードする「全国自治体」と「民間企業」で設立した官民連携プラットフォーム
- ・デジ田国家構想を実現するために、**行政DXをリードする330自治体、法人会員101社**により運営



- ・宇宙業界から初となる**地域DXプロデューサー**として認定される。(全国から約50名が認定済)
- ・「**宇宙x地方創生**」を主軸に、地方の企業・大学の技術の掘り起こし、自治体連携、STEM教育を含めた子供たちに対する多種多様な夢を抱いてもらう活動の**相談窓口**となる

宇宙業界からは唯一！

<https://digital-supporter.net/>

2年間の主な実績

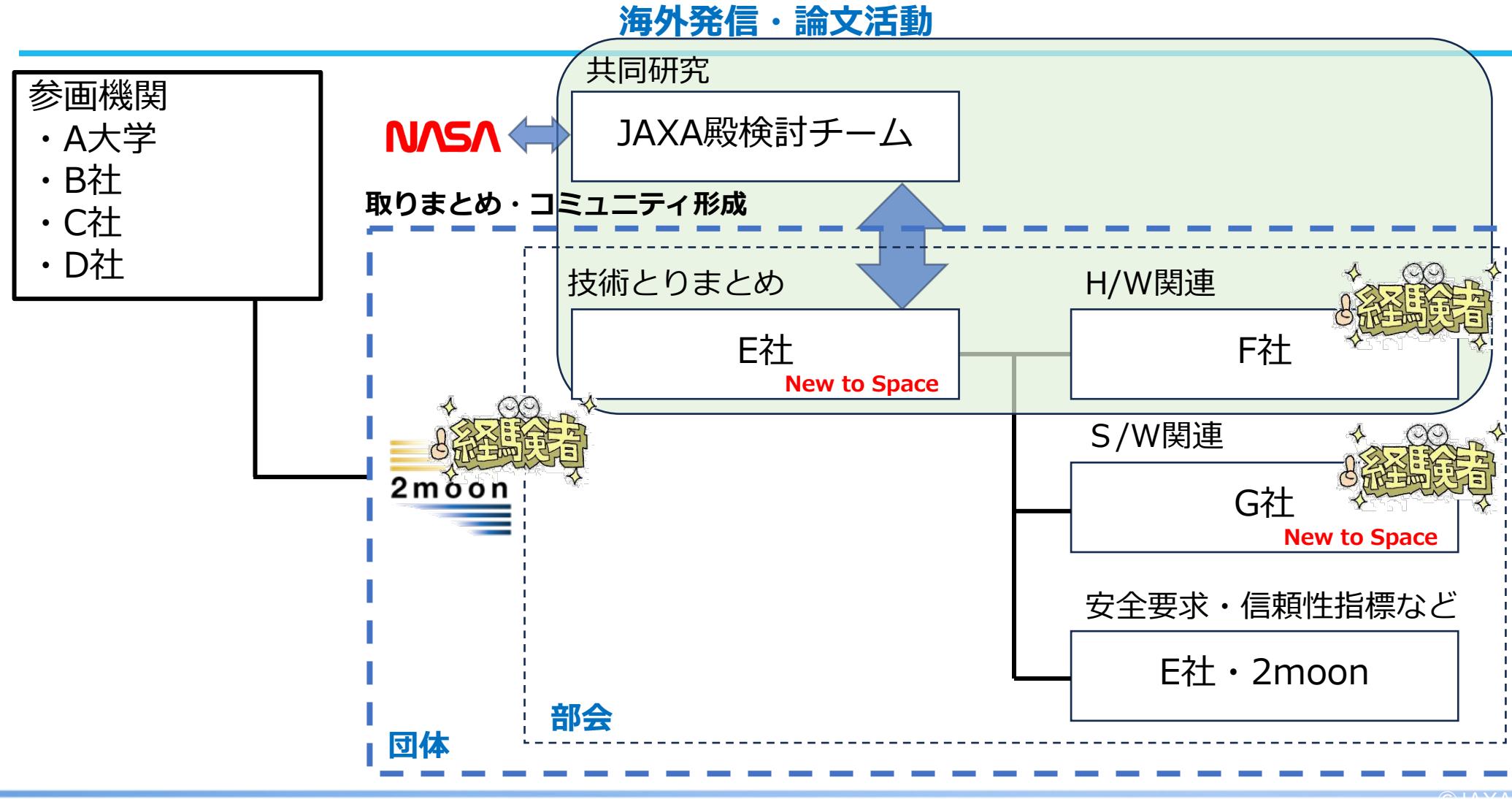
- 宇宙産業参入立ち上げから支援を実施し、約1年で社内研究審査を突破。事業部の中期目標に「宇宙」の文言が入り事業化に向けて加速。2027年度の宇宙実証を目指し継続中 [大手化学メーカー]
- 宇宙業界に参入し5年目。弊社支援により、技術的アドバイス、社内での技術伝承も可能な経験豊富なエンジニアを3名獲得。売上拡大にも貢献 [大手電機メーカー]
- 宇宙参入を試みるも2年間何も起きず。弊社支援により国家プロジェクトを持つ某大学とのコラボレーションを実現し共同研究を開始 [大手自動車部品メーカー]
- 宇宙業界参入を目指す某大学を支援し、S/U支援資金を獲得
- 国際宇宙ステーション「ISS」での商用利用を計画する企業とのコラボレーションにより、航空機でも使用される人工皮革のISSでの実証を提案・支援。
実証サンプルのISSへの打上げ成功 [大手化学メーカー]
- 関西万博での2000人規模のイベントにおいて、宇宙飛行士とのコラボレーション企画を提案・支援。宇宙飛行士参加型のイベント開催を実現 [アパレル業界イベント主催者]
- 宇宙戦略基金 第2弾の宇宙港に関するテーマへの応募を支援。
主に海外調査やビジネスプラン作成を支援 → 採択！

2年間の主な実績

現在、調整中の案件

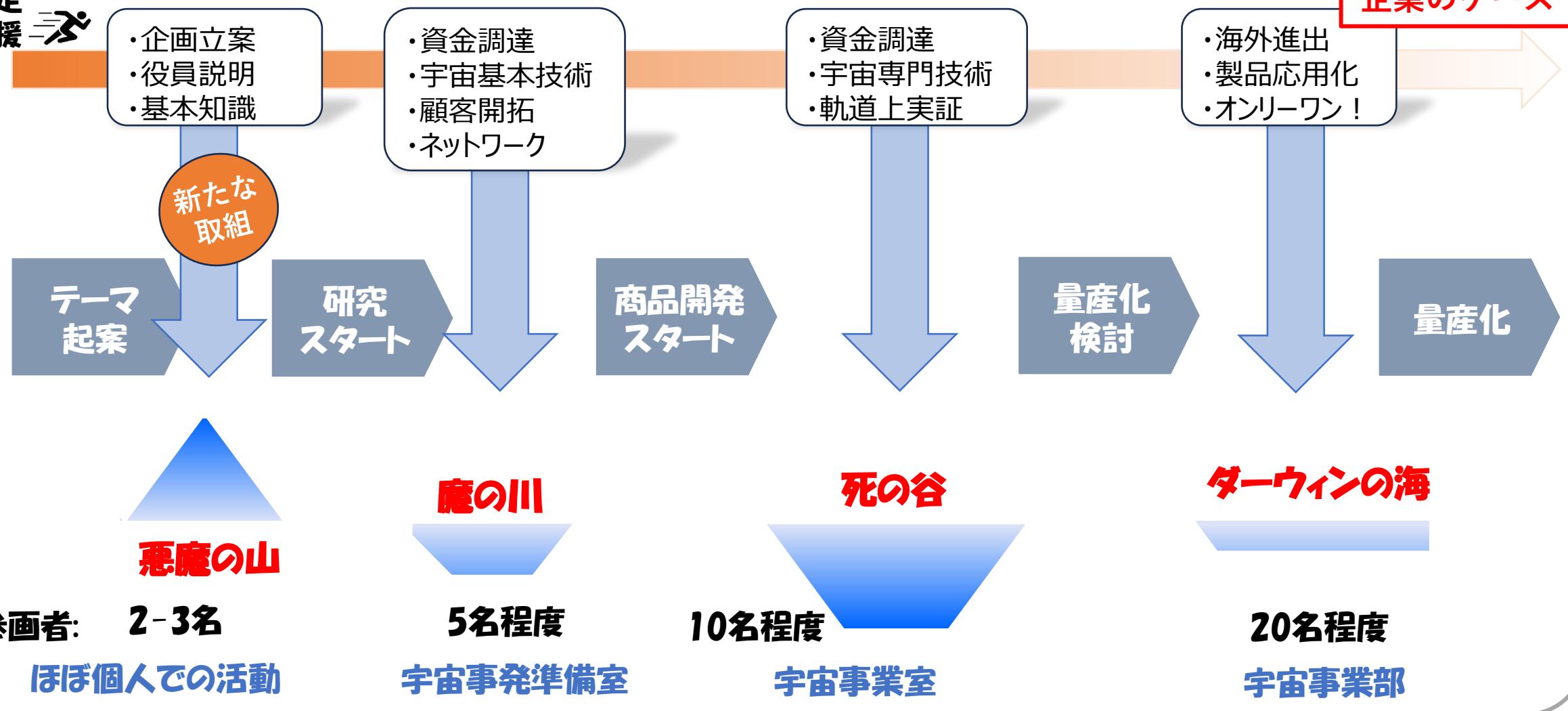
- **宇宙探査イノベーションハブ システム型研究課題に応募。**月面モビリティの開発に対し、宇宙産業参入を目指す企業の研究所、ロボットメーカーとのチーミング含め支援予定
- **宇宙探査イノベーションハブ システム型研究課題に応募。**月面鉱物資源を利用する技術の獲得に向け、宇宙産業参入を目指す大手企業とのチーミング含め支援予定
- **自治体で開催予定の宇宙×防災に関する600人規模のイベントを支援予定。**宇宙飛行士の講演等を企画中
- **複数社の宇宙スタートアップ企業の設立支援実施中**

ある共同研究の体制例



障壁をどう乗り越えるのか？

伴走
支援



宇宙という特殊性が新規事業立ち上げの障壁を高くしている！

Agenda

- 
1. 会社紹介
 2. 遅れている地方での宇宙産業と
それを支援したい政府
 3. 新潟県内で宇宙に関わる企業
 4. 何をすればよいのか？

3. 遅れている地方での宇宙産業とそれを支援したい政府

宇宙 × 地方創生(上越)



©上越市

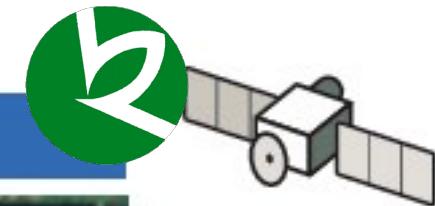


上越地域の技術(底力)

- ・モノづくり、製鉄、化学、農業、水産業. . .

3. 遅れている地方での宇宙産業とそれを支援したい政府

(1) 地方における宇宙との関わり方例



宇宙港×まちづくり

北海道スペースポート

↓
宇宙港で人と仕事の
好循環をつくる

宇宙産業×産業振興

福井県民衛星プロジェクト

↓
福井県と県内外の企業が
共同で県民衛星を製造

衛星データ×災害対応

佐賀県とJAXAで協定

↓
SAR衛星で雲を透過し、
浸水被害などを確認

©JAXA

https://aerospacebiz.jaxa.jp/jichitai/pdf/jichitai_handbook.pdf

3. 遅れている地方での宇宙産業とそれを支援したい政府

(1) 地方における宇宙との関わり方(まちづくりの例)



日本の宇宙港

- ・北海道大樹町
- ・大分県
- ・和歌山県串本町 など

<https://hokkaidospaceport.com/>
https://www.spaceport-japan.org/_files/ugd/a8dd90_822dbf041fe44a7c86651c5b5850757b.pdf



立地の関係で新潟には向かない
南と東に海が必要

3. 遅れている地方での宇宙産業とそれを支援したい

上越地域でのサプライチェーン構築に

(1) 地方における宇宙との関わり方(産業振興の例: 衛星開発の例)



製造の目的

- ・衛星製造を通じた、**県内企業への衛星製造技術の習得**
- ・「すいせん」のデータを活用した**衛星データ利活用ビジネスの創出**

性能

- ・望遠カメラで宇宙から地上を撮影
- ・地上解像度: 2.5m、撮影幅: 約57km
- ・約2週間スパンで定期的に撮影

県民衛星「すいせん」概要

- ・福井県民衛星技術研究組合が製造した超小型人工衛星(自治体初の衛星)
- ・2021年3月22日、カザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地から打上げ
- ・高度600kmの軌道に投入
- ・開発期間は約5年

県民衛星「すいせん」の仕様



<カメラ性能詳細>

地上分解能	パンクロマティック	2.5m
	マルチスペクトラル	5.0m
パンクロマティック	450-900nm	
青	450-505nm	
緑	515-585nm	
赤	620-685nm	
レッドエッジ	705-745nm	
近赤外	770-900nm	

◎福井県

3. 遅れている地方での宇宙産業とそれを支援した

やる気のある企業からチャレンジ！

(1) 地方における宇宙との関わり方(産業振興の例: 北九州市の例)



- ・2023年: 大学・企業への補助事業を開始(1件最大500万円)
 - ・2023年11月: 北九州宇宙ビジネスネットワーク立ち上げ
 - ・2023年12月: QPS研究所上場(評価額2000億円)
 - ・QPS研究所の衛星の80%は九州から調達
→ 九州地区でのサプライチェーンを構築へ

リアルスペースワールドを目指す！



<https://uchubiz.com/article/fea52292/>

3. 遅れている地方での宇宙産業とそれを支援したい

農業の効率化・省人化！親和性高！！

(1) 地方における宇宙との関わり方(産業振興の例: データ利用の例)

- 宇宙データ(撮像画像、位置情報)やスターリンクをフル活用する -

衛星xIoTセンサの組み合わせが全国各地で社会実装されている！

山形県新庄市の米農家「米香房Gratia*s」と協力し、スマート農業の実証フィールドとして運用。お米は一般市場には出回らない幻のお米「さわのはな」。今後は、できたお米の一部を「納屋ラボ米」として販売予定！
実証フィールドプレイヤーは、RobiZy農林水産部会より募ります。



山形県新庄市
「米香房Gratia*s」圃場



Sisco
Consulting

RobiZyロボットユーザ部会 合同企画
複数サービスのログインをポータルAppで統一化
サービスメニューより追加サービスの情報発信



©BSP

3. 遅れている地方での宇宙産業とそれを支援したい政府

(2) 積極的に宇宙ビジネス創出に動く自治体

この他、近年では北九州市、和歌山県串本町等が積極的に取り組んでいる。
衛星データ利用だけで言えば、ほぼ全国で実証事業が行われている。



2024年8月22日フォーラム開催



和歌山県串本町
今年度中に
3回目の打上げへ

宇宙ビジネス創出推進自治体

地域における自律的な宇宙ビジネス創出を加速させるため、衛星データ等を活用した宇宙ビジネス創出を主体的・積極的に推進する自治体

引用:内閣府「宇宙政策 スペース・ニューエコノミー創造ネットワーク(S-NET)」より

R6宇宙予算: 約2900万円
R6宇宙予算: 約2700万円

長野市

福井県

鳥取県

山口県

福岡県

佐賀県

鹿児島県

大分県

群馬県

茨城県

岐阜県

豊橋市



©JAXA

2018年8月 北海道、茨城県、福井県、山口県

2020年9月 福岡県、大分県

2023年3月 群馬県、岐阜県、鳥取県、佐賀県、鹿児島県、長野市、豊橋市

https://aerospacebiz.jaxa.jp/jichitai/pdf/jichitai_handbook.pdf

3. 遅れている地方での宇宙産業とそれを支援したい政府

(2) 積極的に宇宙ビジネス創出に動く自治体

参考：長野市における「新産業創造」に向けた取り組み

新産業創造に向けた令和6年度の主な取組

本市の未来の経済基盤強化のため、新産業の創出に向けて、スマートシティ、バイオマス産業、スタートアップ支援の取組を一体的に推進します。

(新産業創造推進局)

約2900万円

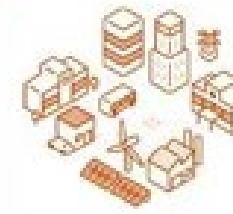
戦略テーマ



宇宙利用産業



フードテック
バイオマス産業



スマートシティ
トライアル

連携

NAGANO
スマートシティ
コミッショナ

スタートアップ支援

約6400万円

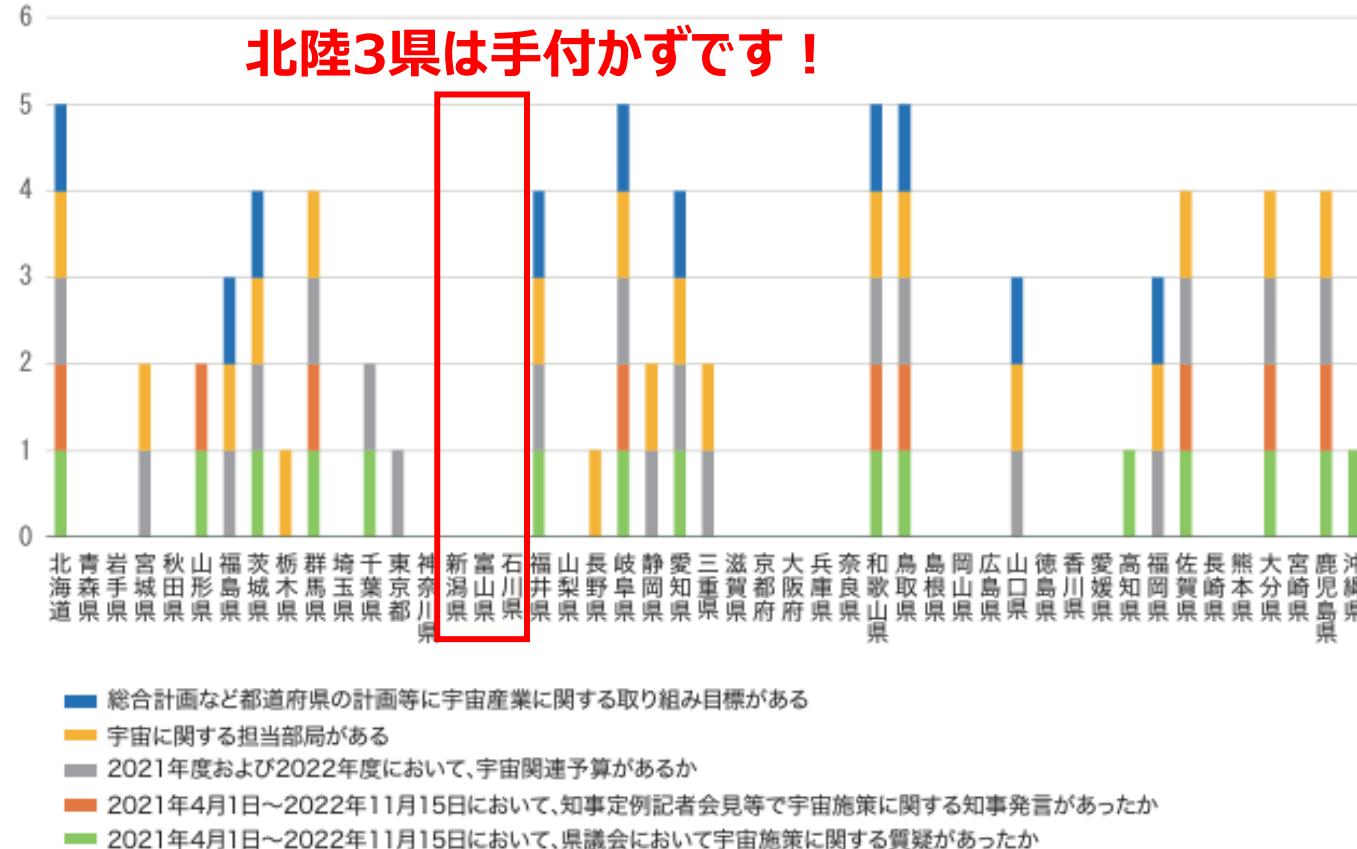
https://www.city.nagano.nagano.jp/documents/1170/gaiyou_1.pdf

3. 宇宙 × 地方創生

(3) 都道府県における宇宙政策現況調査結果

【参考資料】

都道府県における宇宙施策現況調査の結果 (2022年12月時点)



しかし、立ち上がりには
時間がかかり専門家や民
間サポートが必要な状況

2022年12月末に47都道府県
に対して次の5項目をアンケート
調査しました。

- ①総合計画等に記載があるか
- ②宇宙関係の部署があるか
- ③宇宙事業予算があるか
- ④宇宙施策に関する知事の発言
があるか
- ⑤宇宙施策に関する議会での
質疑があるか

今回事例として紹介した「宇宙
ビジネス創出推進自治体」など
はこの5項目の質問に対して3～5
個該当している傾向がみられま
した。自治体で総合計画への記
載、予算の計上、部署の設置な
どを実施することも有効な1歩
かもしれませんね。

3. 遅れている地方での宇宙産業とそれを支援したい政府

(4) 宇宙戦略基金 第1期の応募状況

22テーマに対して
130件・247者の応募

民間から約55%
約1/4がスタートアップ
大学等から約36%

※研究代表者・分担者含む



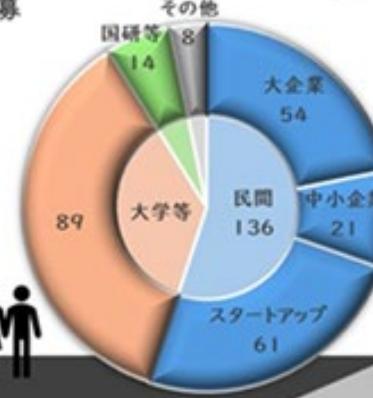
応募130件のうち
複数組織による案件 約**65%** ※複数応募の組織数は
平均4.5組織

40都道府県から応募(約85%)

※青森・秋田・山形・山梨・三重・滋賀・佐賀以外



民間の約**40%**は
非宇宙分野の企業



22テーマに対して

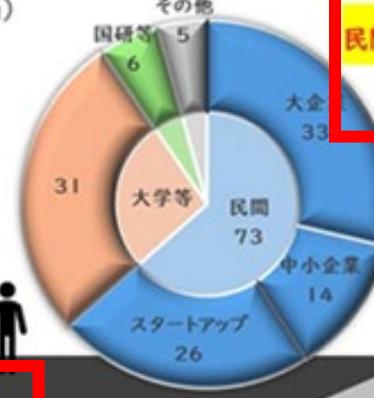
51件採択(115者参画)

民間から約63%
約1/4がスタートアップ
大学等から約27%

※研究代表者・分担者含む
※51件以外に1件不採択



民間の約**30%**は
非宇宙分野の企業



採択51件のうち
複数組織による案件 約**63%**

※複数応募の組織数は
平均4.4組織



28都道府県から採択(約60%)

※青森・秋田・山形・福井・新潟・富山・山梨・
岐阜・三重・滋賀・兵庫・和歌山・鳥取・
徳島・香川・愛媛・高知・佐賀・大分以外

やる気はあるが
実力がないエリア

第2期、第3期は地方への配分が望まれている

宇宙戦略基金 第2期テーマの全体方針

令和6年度補正予算（第2期）では、宇宙戦略基金の創設や宇宙技術戦略の策定を受けて、政府により中長期的な見通しがつけられ、民間企業等が宇宙分野への活動拡大を企図する中で、**非宇宙分野のプレーヤーの宇宙分野への参入促進**や、**新たな宇宙産業・利用ビジネスの創出、事業化へのコミットの拡大**等の観点から**宇宙分野への関与・裾野拡大が特に期待できる新たな取組への支援**を検討する。



非宇宙分野のプレーヤーが参入しやすいよう、FS(2-10億円程度)を含めた少額案件の募集も多く含まれている。

Agenda

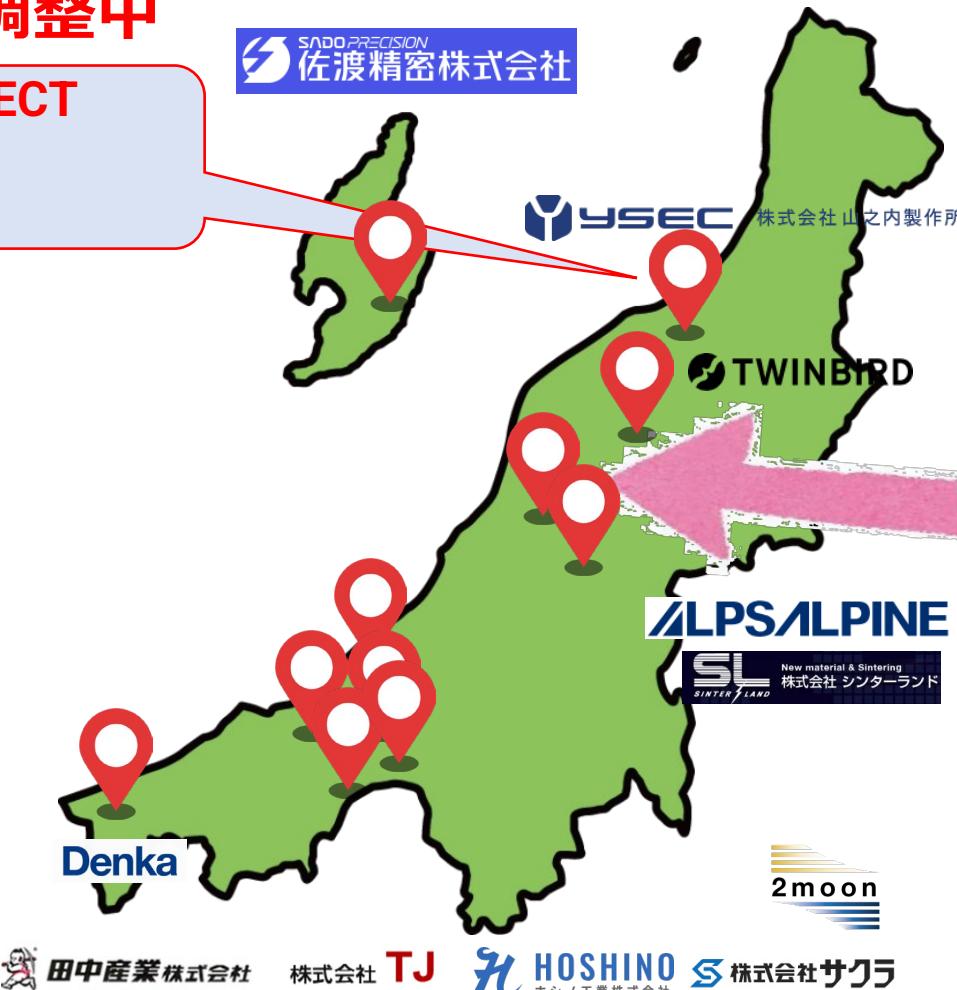
- 
1. 会社紹介
 2. 遅れている地方での宇宙産業と
それを支援したい政府
 3. 新潟県内で宇宙に関わる企業
 4. すればよいのか？

新潟県内で宇宙に関わる企業

「越後宇宙クラスター」ができないか。

新潟県、新潟市と調整中

NIIGATA SKY PROJECT
を
宇宙産業へ！



長岡市 × NTT東日本 連携協定締結事業 **na-ZE** 来百俵プレイス ミライエ長岡 MIRAI NAGAOKA

最先端の技術動向を、ここ長岡で
第3回長岡技術フォーラム
in 長岡ものづくりフェア2024 *

定員 100名様 無料 (事前予約制)

宇宙とモノづくりの融合 イノベーションシティ長岡

日時 令和6年 2月25日(日) 13:30~16:00

会場 米百俵プレイス ミライエ長岡 ミライエステップ
長岡市大手通2丁目3番地10号(長岡駅から徒歩5分)

申込 2/21(水)までに
右記フォームよりお申し込みください

申込フォーム 

SPACE COMPASS Uniting the Universe **BANDAI SPIRITS** **BANDAI**

1 NTTの宇宙戦略
Space Compassが描く新たな宇宙インフラ構想
(株)Space Compass 江尻智礼

- 最近話題の宇宙ビジネスの動向を概説
- 地球と宇宙をつなぐ、新たな社会インフラ構築への挑戦

2 得意を磨く～勇気をもって一步前へ～
プラモデルの進化を支えた現場の技術と想い
(株)BANDAI SPIRITS 高尾典弘 竹島沙貴

- ガンプラの組立を体験しながら、これまでのガンプラ開発で培ってきた技術の説明
- 日本だけでなく、地球全体を考えたものづくりの未来

主催 長岡市/NTT東日本 新潟支店/NPO法人長岡産業活性化協会NAZE

お問い合わせ NTT東日本 新潟支店 niigata-kouhou-ml@east.ntt.co.jp

* 長岡ものづくりフェアはオーレ長岡で9時30分~16時30分で開催

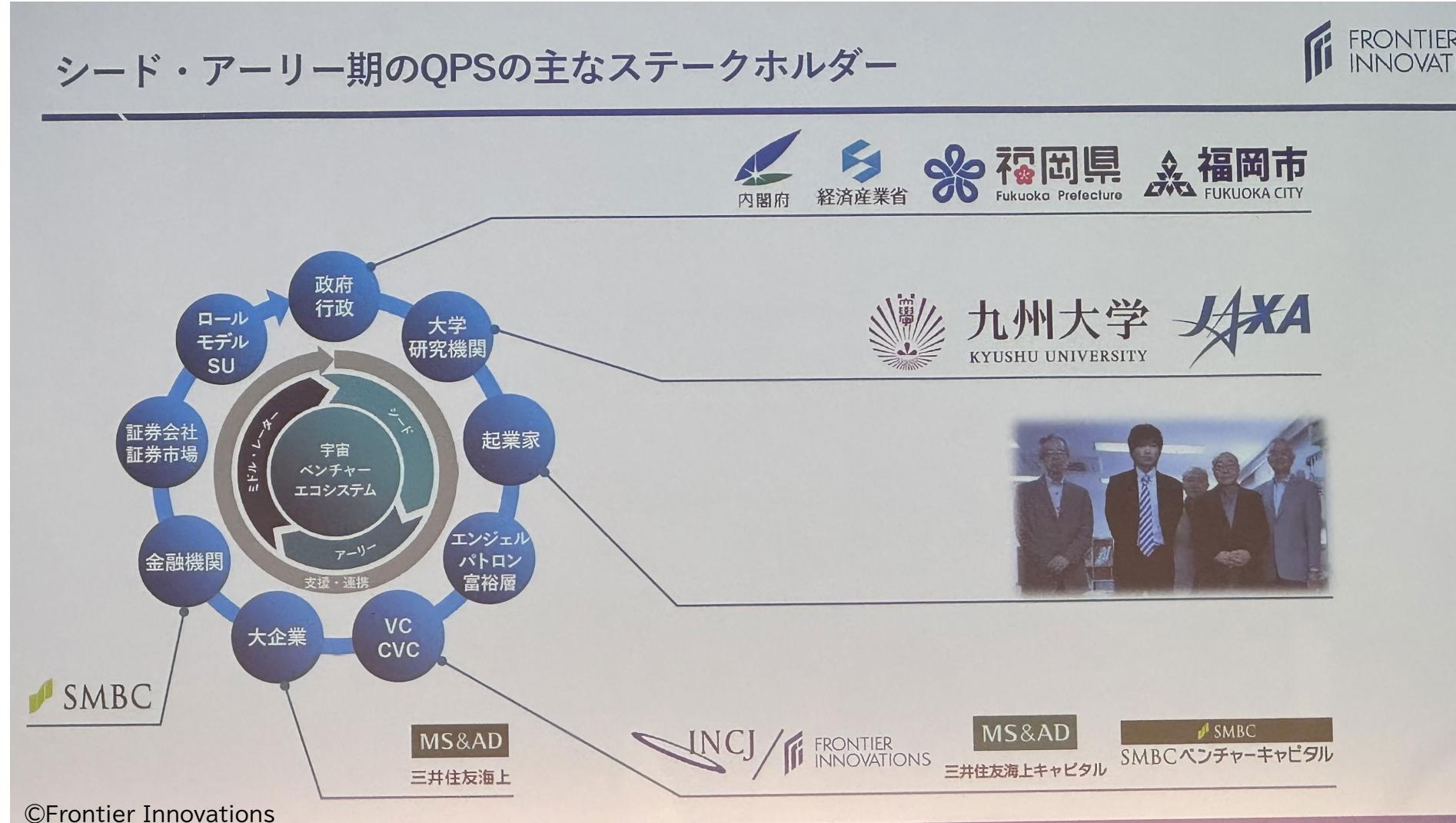
Agenda

- 
1. 会社紹介
 2. 遅れている地方での宇宙産業と
それを支援したい政府
 3. 新潟県内で宇宙に関わる企業
 4. 何をすればよいのか？

4. 何をすればよいのか？

(1) QPS研究所の例

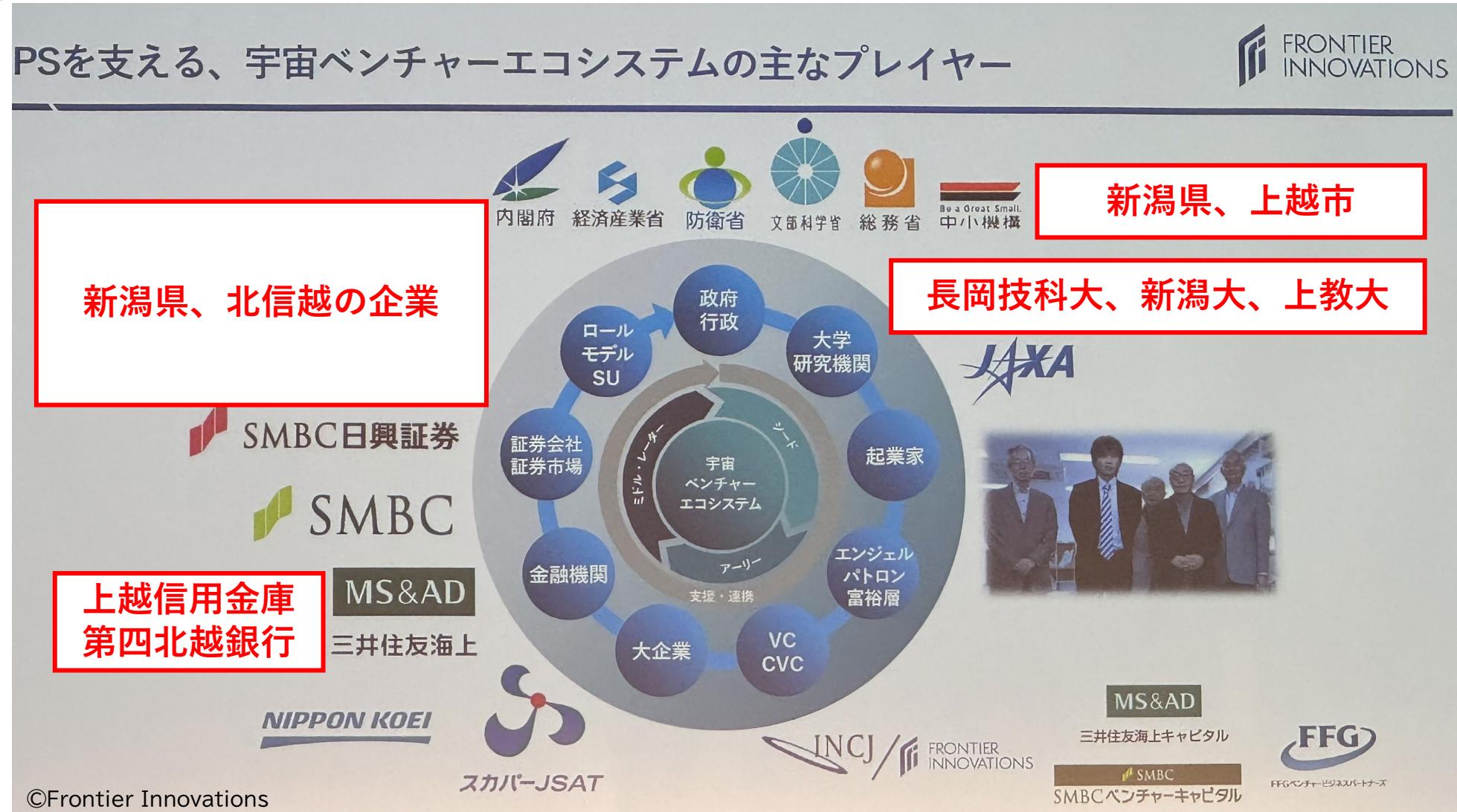
宇宙エコシステム構築を新潟で



4. 何をすればよいのか？

(1) QPS研究所の例

宇宙エコシステム構築を新潟で



4. 何をすればよいのか？

(2) 宇宙業界参入に大切なこと

- 宇宙の**理解**

→ 実はそんなに特
業界内のネット

- 誰にも負けない**技術**

→ どこで勝負するか

- ISO9001等の**国際**

→大手企業や安全

- R&Dをする**覚悟**は

→必ずR&Dが発生

- 専門家を味方につけ

→専門からの口添

- 経験のあるシニアの

→宇宙経験豊富な

- タイミングを逃さない

→ ノット! 両刃は古新聞

2 moon

お任せください

上越地域を中心とした
仲間作り・行政予算化
頑張ります！

売りたいだけではダメ

可能性大

ニコア技術、品証

4. 何をすればよいのか？

(3) セミナー開催します！

日時：令和8年1月16日(金) 13:30受付開始

場所：上越市市民プラザ2階 第一会議室

定員：60名



【第1部】

14:00- 14:40 宇宙ビジネス最新動向と地方からの宇宙参入方法 (伊巻)

14:40- 15:25 月関連(合同会社紺屋 根本氏: 基調講演)

15:25-15:40 地元企業(TJ東條様)

15:40-16:00 長野県企業紹介(デジタル・スパイス様)

【第2部】

16:15-16:30 宇宙戦略基金 第3期(2026年度)の動向 (伊巻)

16:30-17:30 本気で宇宙を目指す人たちのワークショップ